

分野	授業教目名	単元名	単位数	時間数	履修時期	担当教師
専門分野Ⅱ 成人看護学	成人臨床看護総論	急激な身体侵襲が伴う患者への看護 成人臨床看護技術	1単位	30時間	2年次前期	諸上 達也・吉岡 由里香 看護係長 認定看護師・専門看護師

テキスト(発行所)	周手術期看護1外来/病棟における術前看護(医歯薬出版株式会社) 周手術期看護2術中/術後の生体反応と急性期看護(医歯薬出版株式会社) 臨床外科看護総論(医学書院) 救急看護学(医学書院) セルフマネジメント(メディカ出版) がん看護学(医学書院) がん化学療法(学研)
テキスト以外の教材、参考図書	なし

学習のねらい	成人期の様々な健康状態にある対象の特徴を学び、看護の基礎を学習する。そこから、各ライフステージ、機能障害、検査・治療方法などを統合・応用して看護実践できるよう基礎的知識・技術・態度を身につけることをねらいとする。
--------	--

学習目標	1 周手術期の患者の特徴と看護について理解することができる。 2 化学療法・放射線療法をうける患者の看護について理解することができる。 3 救急看護の特性と患者の特徴、看護について理解することができる。 4 慢性病を持つ患者のセルフマネジメントを支援する看護について理解することができる。
------	---

学習スケジュール

回数	主題	学習内容	履修形態 他
1回	手術前の看護	1. 周手術期とは 2. 手術前の看護	吉岡 由里香
2回	手術中の看護	1. 手術室の環境管理 2. 手術中の安全管理 3. 手術室における看護	認定看護師
3回	手術後の看護①	1. 手術創とドレーンの管理 2. 疼痛管理	吉岡 由里香
4回	手術後の看護②	1. 手術後の全身管理 2. 手術後合併症予防	吉岡 由里香
5回	創傷処置とドレーン管理の実際	1. 無菌操作 2. ドレナージの管理	吉岡 由里香 演習(実習室)
6回	手術後の看護③	1. 手術後ベッド作成	吉岡 由里香 演習(実習室)
7回	がん患者と家族の看護 がん看護とは	1. がん患者の抱える苦痛 2. がん患者の生活上の困難 3. がん患者の治療と看護 4. 意思決定支援 5. がん患者の社会参加への支援	看護係長 専門看護師
8回	がん患者と家族の看護 化学療法を受ける患者の看護	1. 化学療法とは 2. 化学療法が人体に及ぼす影響 3. 化学療法を受ける患者の看護	看護係長 専門看護師
9回	がん患者と家族の看護 放射線療法を受ける患者の看護	1. 放射線療法とは 2. 放射線療法が人体に及ぼす影響 3. 放射線療法を受ける患者の看護	認定看護師

回数	主題	学習内容	履修形態 他
10回	救急看護の特性	1. 救急看護とは 2. 救急患者の特徴 3. 救急看護の役割・実際 4. 重症集中治療と看護	看護係長
11回	救急看護～ショック・外傷患者の看護～	1. ショックとは 2. ショック状態にある患者の看護 3. 外傷とは 4. 外傷患者の治療と看護	看護係長
12回	救急看護～熱傷・急性中毒患者の看護～	1. 熱傷とは 2. 熱傷の治療と看護 3. 急性中毒とは 4. 急性中毒の治療と看護	看護係長
13～15回	成人臨床看護技術	セルフマネジメント支援 講義及び グループワーク	諸上 達也

単位認定の方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 出席について:30時間のうち24時間以上の出席があること 2. 評価の割合:以下の評価方法で60点以上の得点があること レポート試験:15点 筆記試験:85点 3. 1と2の要件が両方満たされ、成人臨床看護総論1単位の認定とする。
受講上のアドバイス	<p>この科目では、健康レベルに応じた患者さんへの看護の実際を学びます。健康危機状況にある患者さんは、身体的に生命の危機にあり、身体的側面が精神的側面・社会的側面・霊的側面に及ぼす影響が大きいです。そのため、対象を理解するには身体的側面の理解が必須となります。解剖学・生理学・専門基礎分野で学習した知識が必要となりますので、予習をして臨んでください。また、健康危機状況にある対象は、生命の危機状態という不安を抱えているとともに、社会的役割の大きい成人期の患者さんでは、社会的役割の喪失やそれによる自己存在価値を失うことにもつながります。そのため、身体的側面だけではなく統合的に理解できるようになって欲しいと思います。</p> <p>さらに、慢性病を持つ対象へのセルフマネジメントを支援する看護について学んでほしいと思います。</p>